

2013年3月期第2四半期 (2012年4月～9月期) 決算説明会

2012年11月8日

株式会社日本エム・ディ・エム

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。
なお、前期比較増減については、2012年3月期に決算期変更を行っており比較対象期間が異なるため記載していません。

目次

1.	2012年9月期のトピックス		
	①新製品6品目で承認取得や全国販売展開を達成	・ ・ ・	3
	②6ヶ月連続、米国販売前年同月増を達成	・ ・ ・	4
	③2012年6月J&J社との販売提携契約終了、 自社開発「MODE」製品へ本格転換	・ ・ ・	5
2.	2012年9月期連結業績	・ ・ ・	6
3.	主要品目別連結売上高	・ ・ ・	7
4.	2013年3月期連結業績予想	・ ・ ・	8
5.	中期経営計画2013年3月期重要施策中間レビュー		
	①定量レビュー	・ ・ ・	9
	②定性レビュー	・ ・ ・	10

1.2012年9月期 トピックス①

新製品6品目で

承認取得や全国販売開始を達成

前期

13/3Q1

Q2

Q3



12年6月
Össur 社製
リゾルブ ハロー システム



12年7月
人工股関節臼蓋形成用カップ、フェモラルヘッド



12年8月
エンコンパス ヒップ システム



12年7月
MDMプロキシマル ヒューメラル
プレート システム



12年10月
Vusion OS インターボディ Cage



※図はイメージであり実物のサイズ感とは異なります。

1.2012年9月期 トピックス②

6ヶ月連続、米国販売前年同月増を達成

(単位：千ドル)

2,000

(前年同月比較)

■ 12年3月期

■ 13年3月期

1,500

1,000

500

4月

5月

6月

7月

8月

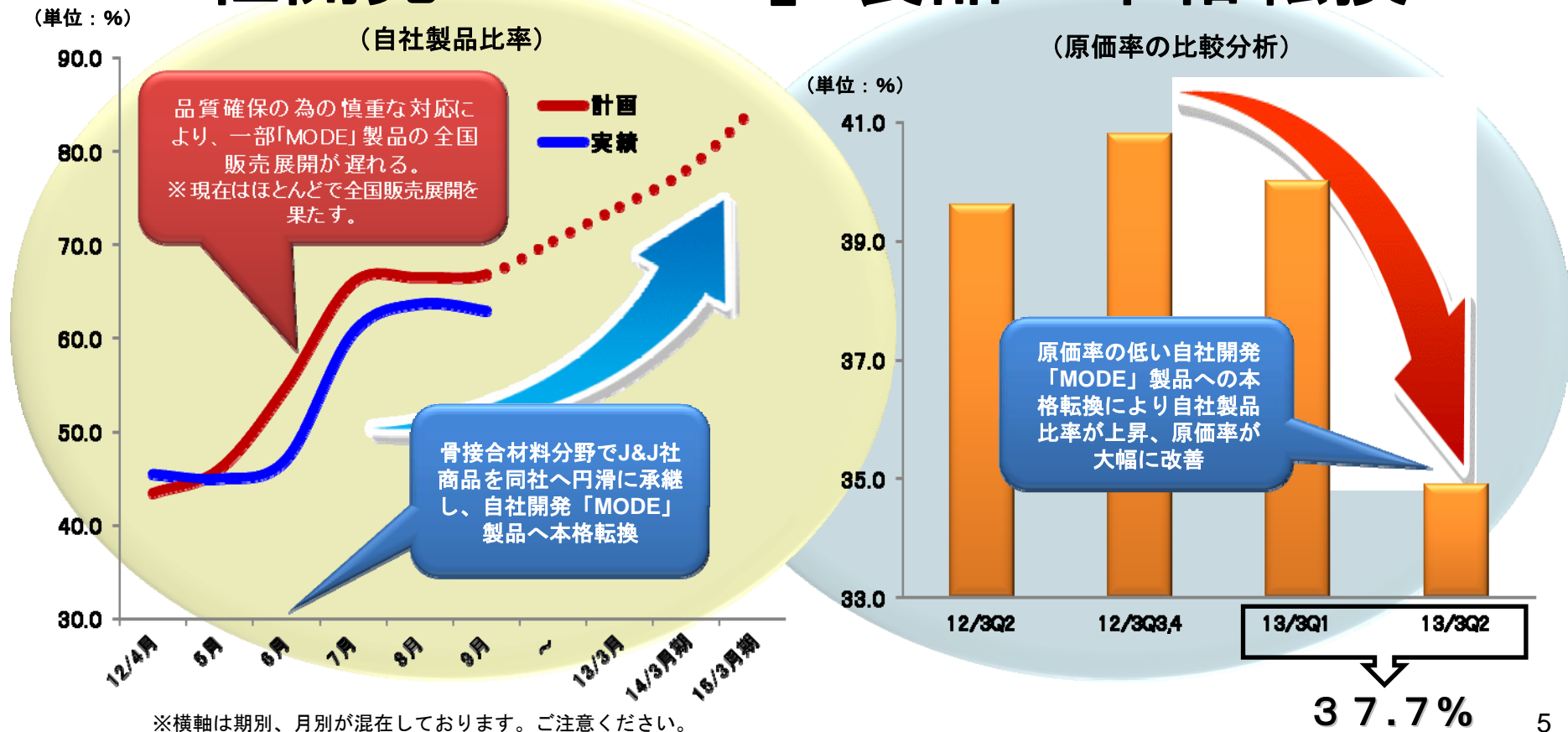
9月

(参考) 主要品目売上高累計

	前上期	当上期	前期増減
KNEE	5,217	5,600	+7%
HIP	2,093	3,216	+54%

1.2012年9月期 トピックス③

2012年6月 J&J社との販売契約終了、自社開発「MODE」製品へ本格転換



2.2012年9月期連結業績

※前期比較増減については、2012年3月期に決算期変更を行っており比較対象期間が異なるため記載しておりません。

	2012年9月期		2011年11月期	
	実績	売上比	実績	売上比
(単位：百万円、%)				
売上高	3,812	100.0	4,523	100.0
売上原価	1,438	37.7	1,764	39.0
売上総利益	2,374	62.3	2,759	61.0
販売管理費	2,603	68.3	2,579	57.0
営業利益	△ 229	△ 6.0	179	4.0
営業外損益	△ 155	△ 4.1	△ 90	△ 2.0
経常利益	△ 384	△ 10.1	89	2.0
特別損益	△ 27	△ 0.7	△ 15	△ 0.3
当期純利益	△ 307	△ 8.1	22	0.5

3. 主要品目別連結売上高

※前期比較増減については、2012年3月期に決算期変更を行っており比較対象期間が異なるため記載していません。

	2012年9月期		2011年11月期	
	実績	構成比	実績	構成比
(単位：百万円、%)				
日本国内販売	3,018	79.2	3,785	83.7
骨接合材料	1,269	33.3	1,913	42.3
人工関節	1,234	32.4	1,248	27.6
脊椎固定器具	195	5.1	250	5.5
その他	318	8.3	374	8.3
米国販売（注）	794	20.8	737	16.3
人工関節	703	18.4	590	13.0
脊椎固定器具	90	2.4	147	3.3
その他	0	0.0	0	0.0
合計	3,812	100.0	4,523	100.0
自社製品売上高	2,024		1,742	
自社製品比率	53.1		38.5	
(注) 米国販売額（千ドル）	9,999		9,255	
(注) 換算レート（円）	79.42		79.71	

4.2013年3月期連結業績予想

※前期比較増減については、2012年3月期に決算期変更を行っており比較対象期間が異なるため記載しておりません。

	2013年3月期		2012年3月期	
	実績	売上比	実績	売上比
(単位：百万円、%)				
売上高	9,500	100.0	8,120	100.0
売上原価	3,100	32.6	3,231	39.8
売上総利益	6,400	67.4	4,889	60.2
販売管理費	5,700	60.0	4,547	56.0
営業利益	700	7.4	341	4.2
営業外損益	△150	△1.6	△169	△2.1
経常利益	550	5.8	172	2.1
特別損益	△110	△1.2	△526	△6.5
当期純利益	260	2.7	△178	△2.2

5. 中期経営計画

2013年3月期重要施策中間レビュー①

定量レビュー

NEW MODE

2013年3月期第2四半期は、売上高は人工股関節製品が米国販売で順調に伸張した一方、J&J社との販売契約終了に合わせ準備した自社開発「MODE」製品及びその他新規導入計画製品の一部に品質確保の為に慎重な対応を行ったことで全国販売展開に遅れが生じたこと、その他競争激化等の影響により計画を下回った。販管費を計画以上に抑制したことで当該売上高未達による影響を最小限に留め、当初営業損益予想を若干下回った。経常損益では、上記影響と円高による為替差損97百万円の計上により当初経常損益予想を下回った。

(単位：百万円)

連結	2013年3月期 第2四半期 計画	2013年3月期 第2四半期 実績
売上高	4,230	3,812
営業利益	△ 170	△ 229
経常利益	△ 240	△ 384
四半期純利益	△ 150	△ 307

5. 中期経営計画

2013年3月期重要施策中間レビュー②

定性レビュー

NEW MODE

41期アクションプラン

- ・ 新たな骨接合材製品を導入し、安定的製品基盤を確立する
- ・ 日本市場における慢性疾患分野へ積極的に展開する
- ・ 既存提携先との更なる関係強化を果たす
- ・ 中国での人工関節製品の薬事承認を取得する
- ・ 内製比率向上、ベンダーコントロールにより原価を低減する
- ・ 新物流体制への段階的移行を開始する
- ・ 滅菌製品比率上昇により物流業務を簡素化する

- ・ 新製品6品目で承認取得や全国販売開始を達成
- ・ 人工股関節臼蓋形成用カップ、フェモラルヘッドの承認取得、慢性疾患分野へ製品投入
- ・ 既存提携先との共同販売促進プログラムを実施
- ・ 中国市場へ人工股関節製品の薬事申請中、承認取得待ち
- ・ 原価率低減を図り、米国以外の海外ベンダーで製造を開始
- ・ 東京商品センターへ大阪商品センターを統合、新物流体制への段階的移行を開始
- ・ 滅菌化比率上昇達成済み、業務簡素化図る